

# 福井大学研究シーズデータ

名前・学部・学科等	木村吉延・医学部・医学科・微生物学教室				
研究情報の分類	新製品				
研究分野の分類	13	以下の18項目から一つ選び番号を左欄に記入する。 1.物理系 2.エネルギー系 3.化学系 4.バイオ系 5.環境系 6.海洋・宇宙系 7.交通系 8.機械系 9.材料系 10.電子・電気系 11.情報系 12.建築・建設系 13.医学系 14.健康・保険系 15.看護・福祉系 16.農業・林業系 17.水産・畜産系 18.その他			
重点研究分野への該当	バイオ				
キーワード(5個以内)	弱毒生ワクチン	インフルエンザ	経口投与方法	ウイルス持続感染細胞	遺伝子再集合
研究情報の名称	インフルエンザウイルス経口弱毒生ワクチンの開発				
概要					
1. インフルエンザウイルス持続感染細胞の樹立					
2. その細胞から温度感受性弱毒変異親株ウイルスを分離する					
3. その親株ウイルスの病原性弱毒化をマウス感染実験で検証する					
4. 親株ウイルスと市中流行株ウイルスから遺伝子再集合組み替え実験によって弱毒生ワクチンウイルスを作成する					
5. ワクチンウイルス経口接種法の安全性、免疫原性、有効性をマウス感染実験で実証する					
6. ワクチンウイルス経口接種法の安全性、免疫原性、有効性をヒト感染実験で実証する					
7. 一定小規模集団の野外接種実験を実施し、その安全性と有効性を確認する					
8. 実用化					
ただし、6. 7. の研究はワクチンメーカーとの共同研究となる					
<div><div><div>インフルエンザウイルス遺伝子再集合</div><div>温度感受性弱毒変異親株ウイルスの分離</div></div><div><div>インフルエンザウイルス持続感染細胞樹立</div><div>弱毒生ワクチンウイルスの作成</div></div><div>経口投与方法</div><div>野外接種実験によるワクチン安全性・有効性の確認</div><div>インフルエンザ経口弱毒生ワクチン</div></div>					
関連している企業・大学・団体等	なし				
関連する特許1件	なし				
関連する論文1編	Peroral vaccination with a temperature-sensitive mutant of parainfluenza virus type 1 protects mice against respiratory challenge infection. J. Gen. Virol. (2001) 82:2889-2894				